

富山市総合計画審議会 第1回部会 指摘事項

番号	資料中、主に関連する部分		指摘事項	対応
1	全体	—	<p>・「富山市を取り巻く状況」は、必ずしも富山市の課題ではないように思う。「時代の潮流」と「富山市を取り巻く状況」の切り分けについても明確にした方がよい。</p> <p>・「時代の潮流」と「富山市を取り巻く状況」、「主要課題」、「基本目標」のつながりがわかりにくい。それぞれの項目の関係性を整理してほしい。課題の切り出し方と現状認識の関係をシャープにしていきたい。</p> <p>・住民が「この施策は必要なんだ」と理解できる資料になるよう、工夫する必要がある。</p>	<p>「時代の潮流」⇒「わが国を取り巻く状況」に変更 また、以下のように構成変更 国レベルの背景…「わが国を取り巻く状況」 富山市の現状…「富山市を取り巻く状況」 ※「富山市の人口の将来見通し」及び「合併10年」を含む富山市の課題…「主要課題」</p> <p>「わが国を取り巻く状況」 「富山市を取り巻く状況」 「主要課題」 の各項目は、後述の「基本目標」「施策の大綱」に合わせ【人材・暮らし】、【都市・環境】、【活力・交流】、【協働・連携】の順に並ぶよう構成を変更</p> <p>上記を踏まえて、以下のように体系を整理 第Ⅰ部 総合計画の概要 1. 総合計画策定の趣旨 2. 総合計画の位置付け 3. 総合計画の構成 第Ⅱ部 富山市の現状と課題 1. わが国を取り巻く状況 2. 富山市を取り巻く状況 3. 主要課題 第Ⅲ部 基本構想 1. 基本理念 2. 都市像 3. 基本目標 4. 都市構造 5. 施策の大綱</p>
2	第Ⅰ部 総合計画の概要	—	総合計画は何をするのかが問われており、課題に対する数値目標が必要。	具体的な数値目標等については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
3	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	1. わが国を取り巻く状況	世界的に見れば人口爆発の時代である。「時代の潮流」にはそうしたグローバルな視点があってもよい。	「人口爆発」について加筆、その他「人口変動」や「貧困」などについても記載している。
4	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	1. わが国を取り巻く状況 ②自然災害等に対する不安の増大	市民の防災意識向上のための施策を抜け落ちないようにすることが重要	「個々人の危機管理意識の醸成を図る」旨を記載する。また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。

5	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	1. わが国を取り巻く状況 ⑥価値観や行動様式の多様化	・「文化・芸術の気運の高まり」とは何に対する気運の高まりなのか。文化・芸術とスポーツ、地域活動等が一緒にされているが、整理が必要である。 ・「文化・芸術の気運の高まり」や、施策の大綱にスポーツ・レクリエーションについての言及があるが、生涯学習との関係性はどうか。「文化・芸術の気運の高まり」はとってつけた感がある。	「文化・芸術に対する気運の高まり」から「価値観や行動様式の多様化」へタイトルの変更及び内容の修正
6	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況	富山市の特色や他の都市に対して誇れる強みを前面に出し、メリハリをつけていただきたい。基本構想や基本計画で、富山市としてどのようなところを目指すのか、明確なメッセージを打ち出せるとよい。	2.富山市を取り巻く状況や4.都市構造において、本市の特色を記載しているが、基本理念や都市像について、部会においても検討していただきたい。
7	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (2)富山市の現状	今後一人世帯が増えてくる中で、どうやって施策に対する参画意識を持たせるかということが重要。	②「支え合いの暮らしづくり」に単身世帯が増加する中でのコミュニティ機能の重要性について加筆する。 また、⑤「共生の社会づくり」、3.主要課題⑩「市民協働による共生社会づくり」を追加する。
8	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (2)富山市の現状	・富山市と富山県との間で、どのような役割分担がされているのか。県都として、地方全体をどう考えていくかという視点も重要である。 ・射水市で働き、富山市で暮らすというような視点があってもよい。全てが富山市で完結する必要はないだろう。	④「高次都市機能の集積を活かした活性化」に県都としての役割を記載する。 また、全てが富山市で完結するという視点はないが、県都として、また、日本海側有数の中核都市として、まちの総合力を高め、より魅力ある都市を創造するという視点で策定している。
9	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (2)富山市の現状	教育基本計画では人格の完成、そこから国家、社会の形成者という目標を打ち立てているが、富山市教育振興計画ではどのように位置づけ、さらに総合計画にどのように盛り込んでいくのが課題。	部会での検討を進めていただき、今後精査していく。
10	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (3)合併10年	・合併について、全体として成功だったという評価は構わないが、問題点や課題についてももう少し言及した方がよい。 ・人口減少の時代の中で、限られた資源を効率的に必要なところへ持っていくことが重要。	①「行政サービス」に公共施設の利活用、再編統合、財政状況についての課題を追加記載する。 また、その他の問題点や課題があれば、部会等で検討していただきたい。
11	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (3)合併10年	合併後に総合行政センターを作っていたが、これから維持できなくなっていったらどうするのか。	②「行政組織」に適宜、組織の見直しを行っていく旨を記載している。
12	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (3)合併10年	人口減少は一律に進むものではない。今後はより一層の過疎化・高齢化が進む地域に対し、どのようにサポートができるのか検討する必要がある。例えば、地区センターの機能拡充について検討していただきたい。地区センターの機能の強化は富山市としての一体感を高め、地区に合った行政サービスの提供につながるのではないかな。	②「行政組織」に適宜、組織の見直しを行っていく旨を記載している。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
13	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (3)合併10年	財政的な制約も含めて行政サービスの限界については言及しておく必要があるのではないかな。NPOを含め、民間活力の活用については明確に示す必要がある。	③「財政」に財政的な制約について追加記載する。

14	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	2. 富山市を取り巻く状況 (3) 合併10年	公共施設の見直しを進める一方で、災害拠点機能をどのように確保していくか。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
15	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	主要課題には、富山市としてのWill(意思)が入っているように思う。課題というタイトル付けは変えた方がよいかもかもしれない。	「富山市を取り巻く状況」においては、富山市としての現状を述べるにとどめ、「主要課題」においては、富山市の課題を示したうえで、will(意思)も記載している。
16	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	アクティブラーニング等の新しい教育についても計画の中で主要課題に入れてほしい。	①「多様な人材の育成と地域への定着」に市民の主体的な学習の充実について加筆する。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
17	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	リーダーを育てることも大事だが、地域に根差す教育による人材育成も重要。	①「多様な人材の育成と地域への定着」に地域活動の充実について加筆する。
18	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	実業家や起業家の育成という面で見ると、高等教育機関である大学、小・中・高から将来のビジョンを持った人材の育成を考えた教育のあり方を考えなければならない。	①「多様な人材の育成と地域への定着」に人材の育成について加筆する。
19	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	人生全体として、人間形成していく姿として教育を見ていく必要があるのではないかと。教育というものをあまり狭い見方をしないようにしたい。	①「多様な人材の育成と地域への定着」に人材の育成について加筆する。
20	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	シビックプライド、郷土に愛着を持つ人材の育成と同時に、世界につながるリーダーシップを取れる人材の育成を図る。	①「多様な人材の育成と地域への定着」に人材の育成について加筆する。
21	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	少子化と高齢化の問題は分けたほうがよいのではないかと。	主要課題については、②「少子高齢化と人口減少への対応」と③「すべての世代の健康・安心な生活の実現」として2つ挙げている。 また、少子化と高齢化の対策として、5.施策の大綱において、主要施策を分けて考えていく。
22	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	富山県内の人口は富山市で食い止めている状況であり、今後も県都としての役割を担っていくことが重要である。	②「少子高齢化と人口減少への対応」に県都としての役割について記載する。
23	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	中山間地域側が置き去りにされているように感じる。 都市部と中山間地域を対立構造としてではなく、相互に補完する関係としてとらえることが重要である。都心機能の充実が中山間地の課題解決に資すること、中山間地の魅力の開発が富山市全体の価値を高め、ブランディングにつながることを考慮した上で、今後の方向性について問題提起できるとよい。	②「少子高齢化と人口減少への対応」に加筆する。 ①「シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」に中山間地域の文化や魅力を引き出したブランディングについて加筆する。
24	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	レジリエンスについては、ハードとソフト(あるいは剛と柔)をうまく組み合わせながら持続性を保っていくという解釈もできるだろう。	1.わが国を取り巻く状況の前文及び④「まちの強靱化」に記載する。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
25	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	レジリエンスを実現するためには、大企業や先端産業だけでなく、地域を下支えする中山間地域や零細企業、ファミリービジネスのような産業についても目配りしておく必要がある。	⑦「産業活力の強化」に中小零細企業の振興について加筆する。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。

26	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	人口の減少とともに家族の在り方も変化している。農村部での直系家族の減少は、農業経営にも大きな影響を与えている。今後世帯がどうなるかという予測をしておくことで、地域のコミュニティや実態に合った細やかな支援体制を考えることができるのではないか。	今後とも核家族、単身世帯の増加が見込まれている。 ⑦「産業活力の強化」に農林水産業の「担い手確保」について記載する。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
27	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	芸術・文化について、一般の人が「楽しむ」ということは重要である。市民一人一人が富山のよいところを認識できれば、県外へのプロモーションにもつながっていく。	⑨「伝統文化の継承と新たな文化の創造」に文化に親しむ機運の醸成について加筆する。
28	第Ⅱ部 富山市の現状と課題	3. 主要課題	シビックプライドとブランディングという言葉の響きはよいが、具体的にどう進めていくのか、シビックプライドとは何か、ブランディングとは具体的には何をするのか、基本構想を見た市民にも伝わる内容にする必要がある。	⑩「シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」にブランディング、シビックプライドについて加筆する。 また、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
29	第Ⅲ部 基本構想	2. 都市像 4. 都市構造	「都市像」と「都市構造」については別々の場所ではなく、同じ項目の中でまとめた方がよいのではないかと。	「都市像」とは、目指すべき都市の姿として理念的なもの。 一方、「都市構造」とは、コンパクトなまちづくりを基本とした土地利用の方向性を示したもので、それぞれの趣旨は異なる。
30	第Ⅲ部 基本構想	3. 基本目標	幼少期から高齢期まで、生涯を通じて利用することのできるまちの姿を打ち出してはどうか。	「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の概念である。 具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
31	第Ⅲ部 基本構想	4. 都市構造	周辺部の住民の間には、全て中心に集約されてしまうのではないかと不安がある。団子と串のまちづくりについて、住民に理解を深めてもらえるような施策が必要である。団子の中身についても検討していただきたい。	具体的な計画については、来年度以降、基本計画策定に合わせて都市計画の中で検討する。
32	第Ⅲ部 基本構想	4. 都市構造	南北に対する鉄軌道の考え方はよいが、東西のつながりが欠けているのではないかと。	「公共交通軸」は、既存の鉄軌道と重要なバス路線を示しているものであり、新たな「公共交通軸」については、慎重に検討されるべきものである。
33	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	スポーツクラブ等はあるが、幅広い方が参加できるような環境づくりが必要。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
34	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	・「子どもたちのための環境整備」という文言を加えていただきたい。 ・「すべての人が健やかで安心して暮らせるまち」の中に「子どもたちがたくましい体と豊かな心を持ち、自ら学ぶ力を育成できる環境を整えます」の一文を加えていただけたら。	(1)すべての人が輝き安心して暮らせるまちの「政策1 すべての世代が学び活躍できるひとづくり」に自ら学ぶ力を育成できる環境の整備の一文を加筆する。
35	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	地元の得意分野を強化していくことを通じ、住民自身が富山市の良さを認識できるように意識付けることも重要である。市民との協働・連携への取組も重要である。	(4)「共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち」政策1の主要施策(1)「市民主体のまちづくり」には、市民との協働・連携を含むものとする。
36	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	ふるさと教育は、Uターン者の観点からも重要な取組である。住民自身が富山市にどのような文化や企業があるのかを認識できるような教育が必要ではないかと。	(4)「共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち」政策2の主要施策(1)「シビックプライドの醸成」には、ふるさと教育の推進を含むものとする。
37	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	都市の総合力を視野に、個別分野の施策をつなぐ横断的な取組についても検討が必要である。	主要課題等において横断的な認識を持ち、施策の体系を検討している。

38	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	たてよこにつながって取組を展開されていくのが一番大事。	主要課題等において横断的な認識を持ち、施策の体系を検討している。
39	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	個別計画がある中で何を強調するのか、重点的に関連付けながら取り組んでいくのは何かを明確にする必要がある。	主要課題等において論点を明示化しているが、主要施策の絞り込みや重点化などについては、部会においても議論していただきたい。
40	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	企業が求める人材と学校の教育の間にギャップがある。学校に民間企業の人材を講師として招く等、より実践的な教育を行っていくことが産業の育成にもつながるのではないかと。	職業教育は高等教育に含まれるが、具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
41	第Ⅲ部 基本構想	5. 施策の大綱	少子化を考える場合、2人目、3人目を産まない方への対策が大事。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
42	第Ⅲ部 基本構想	—	学校と地域のつながり、地域の人たちと子どもたちがふれあう体験、育児体験、介護体験等の事業をもっと広げていけるといい。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
43	その他	—	「安らぎ・誇り・輝き」や、「安全で持続性のあるまち」等のフレーズが挙がっているが、例えば「コンパクトなまちづくり」とは何がコンパクトなのか、「持続性のある魅力的なまち」の持続性とはどういったことを目指しているのか、富山市が考える自然、防災とは何なのかといった議論が必要である。	部会での検討を進めていただき、今後精査していく。
44	その他	—	歴史の中から富山らしさを感じる部分は多い。葉等もそうだが、歴史的なつながりの中で現代の産業や現在の課題が語られると富山らしさが出てよいのではないかと。	部会での検討を進めていただき、今後精査していく。
45	その他	—	前計画の踏襲にこだわらず、市民目線も取り入れつつ、個別の政策に新たな観点を入れてはどうか。	全計画の踏襲にはこだわってはならず、部会で議論していただき、今後精査していく。
46	その他	—	市民に対していかに情報を提供していくかということは重要なポイントである。	情報提供の手法については、今後検討していく。
47	その他	—	計画がスタートする29年度の前に解決できるものは解決し、できなかったものは次の計画に引き継いで対応していただくことを考えてもらいたい。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
48	その他	—	まちづくりなどのソフト事業については大学との連携は行われている。市と学生との連携について記載できることがあれば盛り込みたい。基本計画になれば具体的な事業が出てくるので、そこで「大学との連携による」等を加えられればよい。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
49	その他	—	介護に従事する人を確保できるのか。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
50	その他	—	障害をもつ方の社会参画も進められているが、現実の地域社会では許容できる力はそれほどないのではないかと。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
51	その他	—	富山の教育の質が高いということについて、県外へのアピールになっていない。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。

52	その他	—	大型港湾をつくるなど、魅力的なインフラがあれば、自然と企業が集まり産業振興にもつながる。関東にも関西にも近い富山市の立地を活かしていく事も重要だろう。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
53	その他	—	ガラス産業は全国的に知られており、最近では人材の育成にもつながってきている。次のステップは海外に送り出すことではないだろうか。現在、企業や団体に対する支援はあるが、海外に挑戦しようとする個人に対する支援はない。芸術・文化、スポーツの分野でも支援のあり方を考えていく必要がある。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。
54	その他	—	都心、郊外、豊かな自然を一体的に考えられることは富山市の強みだろう。一本筋の通った都市計画・構想を打ち出すことができれば、全国的にみても都市経営のモデルになり得ると考えている。	具体的な計画については、来年度以降、基本計画策定に合わせて都市計画の中で検討する。
55	その他	—	コンパクトシティを掲げるのであれば、ドクターヘリに加えてドクターカーを提供できるような仕組みについても考える必要がある。	具体的な施策については、来年度以降、基本計画策定の中で検討する。